

令和7年度とちぎグローバル人材育成プログラム共通科目の概要

科目 No.	1
授業科目名 (英語表記)	異文化理解と国際交流 —SDGs を達成するために— Cross-cultural Understanding and International Exchange to Achieve the SDGs
授業の実施場所	オンライン授業に自宅等より参加
使用言語	日本語
単位数	1
開講時期	令和8（2026）年2月7日(土)～8日(日)（4コマ×2日） 〔9：10～16：20〕
授業形態	オンライン
受講者数	最少10人～最大30人
担当教員	宇都宮大学教授 松金 公正
開設大学	大学コンソーシアムとちぎ
授業の内容	グローバル化が進む現在、異文化理解と国際交流は極めて重要な役割を帯びるようになっている。しかしながら、我々は「国際」や「理解」という言葉をどの程度理解しているのでしょうか。本講義では、近年の日本と他国／他地域との摩擦といった局面を、東アジアを事例として取り上げつつ、「国際」や「理解」という言葉をどのようにとらえるべきであるのかという視点を通じて、現在、「とちぎ」をはじめとした日本各地で起きているグローバル化における問題点を検討する。なお、本講義は、とちぎグローバル人材育成プログラム共通科目の中に設定された大学コンソーシアムとちぎ主催科目です。プログラムを受講するために必要な能力や行動力の基礎を身に着けるための科目です。
教科書・参考書・教材等	必要な資料等は、適宜配付します。
成績評価	授業への参加態度（10%）、授業中の報告（20%）に加えて、試験または授業を踏まえたレポート（70%）によって判断します。
学修上の助言	異文化理解は極めて難しく、きちんとした方法論をマスターすることが大切です。ステレオタイプの理解は間違った認識だということを前提とし、そこを入り口として新しい知識を学びつつ、間違った情報を削ることにより、異文化を理解するという方法に慣れてほしい。また、国際化は、文系や英語といった話に重きを感じるかもしれないが、理系の学生にぜひ聞いてほしい内容です。